

令和6年第4回錦江町議会定例会一般質問

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
池田行徳	肉用牛生産農家の現状と今後の施策について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子牛価格低迷や飼料、生産資材価格高騰という状況の中で、子牛生産農家の現状と農家戸数、出荷頭数の近況はどうか。 2. 前回の和牛オリンピックで鹿児島県が優勝した。本町での次回に向けた課題解決、施策等はどのようなものか。 3. うま味成分（オレイン酸）の遺伝子を保有する肉牛の増産を増やす方策として、受精卵移植等をどのように考えるか。 4. 堆肥センターへの搬入など年に何件くらいあるか。また、堆肥の還元状況として無駄なく活用されているか。 5. 飼料高騰対策としての、国内生産に向けての飼料耕作実証の結果はどうであったか。 6. 獣医師を志す学生への支援策はないか。 7. 子牛価格低迷や生産資材高騰で、大変な経営を余儀なくされている生産農家への今後考えられる手立てはどのようなものか。 	町 長
	小学校統合後の施設の活用について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大原小学校の校舎、プールの統合後の活用方法をどのように考えているのか。 2. プールについては、ニジマス養殖には活用できないか。 3. 教室跡地は、書道教室をはじめ、工作、染め物、音楽、陶芸、野菜と花の苗づくり、星空観察、短歌俳句、カラオケ、その他考えられる様々な教室として活用できないか。 4. 校庭は、年間を通してグランドゴルフ場に活用できないか。 5. 施設の一部を救急車の待機場所として活用できないか。 	教 育 長 町 長
川越裕子	交通安全対策について	<p>先般、本町に於いて高齢者の死亡事故が発生した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今後、高齢者に対する交通安全対策をどのように推進していくのか。 2. 事故現場の検証において、何ら問題はなかったか。 3. 自転車の交通ルールが改正になったが、住民への周知は必要ないのか。 4. 交通安全母の会の現状についてどうなっているのか。 	町 長

久本晃	防犯対策	<p>1. 現在、様々な凶悪な犯罪が全国で起こっている。防犯対策として自分事として捉えるために情報提供、啓発活動が必要と考えるがどうか。</p> <p>2. 以前の一般質問でウォーキングコースの街灯整備について質問したが、「防犯上の観点から昼間の利用を案内板に記載してある」との答弁であった。町内の街灯がない道路は全体の何割程度か。また既存の街灯の仕様や管理状況、今後の取組みはどのように計画しているか。</p> <p>3. 以前の一般質問で防犯・防災の目的で町有施設にカメラを設置する考えがないか質問した。「各自治会等から具体的な要望があれば設置に向けた検討を行う考えがある」との答弁であったが、これまでに要望や検討等があったか。</p> <p>4. 道路に面した個人宅や事業所に防犯灯や屋外用防犯カメラを設置する為の補助金制度を設ける考えはないか。</p>	町長
染川金治	本町の介護施設の現状と今後について	<p>1. 本町の初期の認知症の方々や要支援1・2及び要介護1から5までの人数を伺いたい。</p> <p>2. 介護施設での介護士の方々の平均年齢が上昇し、人材も不足している現状であると聞くが、通所者及び入所者の方々は、十分な介護サービスを受けているのか。</p> <p>3. 介護士不足を補うために、外国人技能実習生も含めた介護施設への支援を、町としてどのように考えているのか伺いたい。</p>	町長
	南大隅高校の支援について	<p>1. 本町でも南大隅高校の寮について、空き家を利用して来年4月より新入生を受け入れる準備をしているが、具体的にどのような計画で進めるのか伺いたい。</p> <p>2. 本町も南大隅町と同様に、南大隅高校存続協議会に就学支援補助など、様々な支援をしているが、高校への国からの支援事業は考えていないのか。</p>	教育長
	町制施行20周年と今後について	<p>1. 節目の20年を迎え、記念式典も実施されたが、町内全世帯へ20周年の記念品を贈る考えはないか。</p> <p>2. 地名の呼び方と今後の使い方、用い方について、町長の考え方を伺いたい。</p>	町長
久保勇太	医師会立病院の再整備に関して	<p>1. 先の10月18日に行われた南大隅町並びに本町の合同全員協議会では、去る9月26日に実施された病院本体の建築工事に係る一般競争入札に関して応札があったが、不落との報告を</p>	町長

		<p>受けた。内容は本体設計予定金額に対して事業者の入札金額は、設計予定金額を大幅に上回り不落となったものである。本年2月に提示された総事業費用は約82億円であったが、これも大幅に上回ることになり、再入札の行方も不安視される状態である。このような事態に陥ることは予見していなかったのか。一連の経緯の詳細な説明を求める。</p> <p>2. 当方は約2年に渡り、本件に関して事業規模の懸念を表し、建設事業に係る経費の顕著な価格上昇の兆しがあり、資金不足による事業中断の懸念が拭えないことから、適正規模に事業計画を見直し、南隅地域の实情に応じた、持続可能な地域の医療・介護の姿を再構築するよう、訴えてきたつもりである。</p> <p>振り返ってみると、令和5年3月議会においては、肝属郡医師会立病院再整備基本計画に基づく総事業費用に関して質問を行ったが、当時は約58.7億円との答弁があった。また、事業主体である医師会は整備に当たり整備費用を負担しないとの決議がなぜなされたのか。医師会では資金を調達できなかったのか。公費を投入する以上、医師会の徹底した経営改革が先立つべきであり、ファンド等を組成した上で事業再生を図りつつ、全額とは言わないが半額程度は自力で資金を調達し、不足する財源に関して自治体に要望するという流れが民間病院ならば当たり前ではないか。という質問や、このような巨額補助は補助事業の公平性の観点から問題ないと言えるのか。また、事業収支計画によると、大規模改修等の費用を盛り込んでいないにも関わらず、年度によっては数千万円の赤字が出ている。大規模修繕費用や赤字補填の財源はどこから捻出されるのか。という指摘をさせていただいた。</p> <p>続く令和5年6月議会においては、仮に総事業費用の上昇が見込まれる場合、不足財源はどのように賄う計画なのか。医師会立病院が出資するのか。それができない場合は両町で負担するのか。また、総事業費用はいつの段階で確定するのか。その場合の上限は決めてあるのか。また、総事業費用上昇に伴う本町への中長期的な財政面への影響はないのか、という指摘を行っ</p>	
--	--	---	--

た。そして、町民の皆様や議会では総事業費用は 58.7 億円との説明を受け、病院建設を承諾した経緯があるため、当金額が上回る場合は、町民の皆様をはじめ関係者の皆様に丁寧に説明を尽くすべきではないか。また、県内外問わず、当整備計画と同様に、事業費用を全て自治体が負担し、事業運営主体に補助金として交付し、民間病院として運営されている成功事例を紹介されたい。また、万が一、医師会が大規模修繕工事や赤字費用を賄えず、事業継続を断念した場合の事業承継や地位の譲渡はどのようなのか、との質問を行ってきた。

さらに令和 5 年 9 月議会においては、10 年後、20 年後、30 年後の南隅地域における当事業計画は、今後起こりうる様々なシナリオにおいて感度分析を行い、その最適解に基づいて計画されたものであるのかという指摘を行わせて頂いたが、一番重要な大隅縦貫道の開通効果を考慮されていないように感じた。大隅縦貫道の整備促進の最重要目的の一つは、鹿屋圏の医療施設への迅速なアクセスである。また、当整備計画と同様に事業費用を全て自治体が負担し、事業運営主体に補助金として交付し、民間病院として運営されている事例はないとの答弁があった。事例がないということは、2 つの理由しか考えられない。それは、どこの自治体も出来ないような、限りなく先駆的な取組であるか、必ず失敗する取り組みであるかの 2 つの一つである。

そして令和 5 年 12 月議会においては、『国内外の各種情勢を鑑みると当初計画の総事業費用 58.7 億円が上振れる可能性は著しく高まったと言わざるを得ない』と指摘させて頂き、仮に総事業費用が当初の予定を大幅に上回った場合、病床の削減等を含めた設計見直しは行うのか、それとも一切行わないのか、との質問を行わせて頂いた。当時は、総事業費用 58.7 億円が上限との事であった。故に見直し等一切行わないとの答弁であった。

それが、令和 6 年 3 月議会においては、総事業費用は当初の 58.7 億円ではなく、80 億円を超える見通しになった。さらに、町民の皆様も我々議会も、本事業に関する両町の事業費負担

は、平等に 50% 50 %であるとの説明を受けてきた。それが、本年 2 月 5 日の段階では、事業費負担に関して本町が約 42 億円、南大隅町が 33 億円と実に 9 億円ほどの開きが生じ、議会に諮ることもなく既に南大隅町にこの金額を提示したとの説明を受けた。加えて、本事業は 3 か年に渡る債務負担行為として予算に計上してあるが、3 月 4 日段階で南大隅町議会との協議の場すら開かれず、両町の 3 か年に渡る建設事業費の内訳に関して合意に達していなかった。当時は両町において負担すべき事業費(債務)が確定していない状態であるのにも関わらず、なぜ両町議会で債務負担行為に関して審議が開始されたのか。そして、両町の建設事業費補助の上限を 7,457,252 千円としたのであれば、事業費用がこの額を上振れた場合は医師会が本当に負担できるのか。今後は建設業界の 2024 年問題に代表されるように、様々な要因により建設費上昇並びに工期延長が見込まれる。仮に医師会が賄いきれないほどの事業費用上昇が現実となった場合、どのように対処するのか。さらに、今日の条件を当てはめ、再度シミュレーションを行ったら本当に黒字が出るのか。万が一赤字の結果が出た場合、当計画の根拠が崩れることになる。今後、この計画のまま進めて、万が一赤字経営が続いた場合、誰が責任を取るのか。

このように、当方は再三に渡り、当計画には建設段階における資金調達の不透明さや責任分界点の曖昧さに加え、医師会と 30 年に渡る事業継続の契約も締結されていないばかりか、事業計画の中身、特に大規模修繕費用など必要不可欠な経費が織り込まれておらず、仮に移転新築した場合の事業継続性の懸念等を指摘してきた。

去る 10 月 18 日に行われた合同全員協議会では、町長より 12 月 26 日に同じ条件で再入札を行うと説明を受けた。それを聞いた南大隅町及び本町議員の皆様から懸念が相次いだ。なぜ、予備費 5.2 億円をこの段階で全額つぎ込むのか。理解に苦しむ。そして、更なる不足額は医療機器費用や情報システム費用を流用するとの説明であるが、これでは新築移転の大前提が崩れ去る。当初はリースもしないし医師会側

		<p>が負担になるような事はしないと言っていた説明は何だったのか。全く理解できない。一体何を信じていいのか。町民の皆様への説明はどうするのか。</p> <p>このような状況下で再入札を行い、本当に無事に落札できるのか。仮に入札が成功しても、予備費が全くないため、3か年に渡る工事期間中の建設費上昇や工事期間延長が生じた場合、建設を中断するのか。一体全体、この計画のまま進めて、当事業は本当に成功すると考えているのか。万が一、再入札が失敗したり、建設が中断したりした場合は、誰が責任を取るのか。</p> <p>今一度、本事業における失敗時の対応と町長の責任を問う。</p> <p>3. 先日医師会立病院を訪れたが、病院の機能には何も問題なく、スタッフの皆様にも真摯に対応頂いた。合日の南隅の医療需要に応えることのできる192床を誇る医療機関は確かに存在するのである。なぜ、この歴史と伝統のある当病院を取り壊し、移転新築にそこまでこだわるのか。それは、一体いつの段階で誰がそのような決定をされたのか。その時の想定総事業費は約30～40億円程度だったのではないのか。現在の総事業費はその数倍に膨れ上がっているが、費用対効果の観点から、この金額が当時提示されたら移転新築という同じ結論に達したのか。とてもそうは思えない。現在医師会が指摘する修繕が必要な個所があれば、両町で必要額を補助し、延命化を図れば何も問題ないを考える。どうしても移転新築が必要であれば、大隅縦貫道Ⅰ期整備後の5年後を目途に医療需要を十分に精査した上で、必要であれば再検討を行えばよい。</p> <p>今回が、南隅の未来を変える最後のチャンスである。現在の192床を誇る地域に愛される医師会立病院の延命化を図り、今後必要に応じて南隅地域の実情に応じた、持続可能な地域の医療・介護の姿を再検討することが南隅の未来にとって最も重要であると考えているが、町長の見解を問う。</p>	
浪瀬亮祐	観光振興について	<p>1. コロナによる様々な制限が緩和され、全国的に観光地が賑わいを取り戻しているが、本町の観光の取組と入り込み客などどのようなこと</p>	町長

		<p>が行われているか。</p> <p>2. 観光施設等の合理化等を考慮して指定管理制度も進められているが、現状と課題等はないか、また今後のどのように進めていくのか。</p> <p>3. 観光振興を更に進めるために、近隣では各種関連の連携を図るための観光協会等を設立し、観光と農業を融合した取り組みをしている団体も多く見られるが本町の考え方を聞きたい。</p>	
	教育行政について	<p>1. 教育長として、行政、学校現場の経験を活かし、将来を担う本町の子どもたちにどのような力をつけさせたいか。</p> <p>2. 家庭教育力の向上において、地域社会における人と人とのつながりや第3日曜日「家庭の日」の取組を活かし、家庭教育に関する取組を地域全体で推進するとなっているが、どのような活動がされているのか。</p>	教 育 長
落司道子	非常時における木質バイオマス施設の活用について	<p>1. 木質バイオマス施設の非常時活用のノウハウは共有されているのか。</p> <p>2. 本施設は「防災・減災」を導入目的の一つとしている中で、なぜ、台風の停電時に活用されてこなかったのか。今後は非常時に活用できるよう、運用していく考えはないか。</p>	町 長
	男女共同参画について	<p>1. これまでも特定事業主行動計画については、質問してきた。目標の達成に向け、取組みを進めている中で、男性職員の育児休業取得率など、こういった現状にあるのか。</p>	町 長